

全国植生調査データベース (H12-R3 年度版)

データベースの提供について

全国植生調査DB (アクセスファイル: 260MB) の入手を希望される方は、以下のとおり、専用窓口まで、メールにてご依頼ください。ダウンロードURLをお送りします。

【メール宛先】 shokuseiDB@env.go.jp

【メール件名】 全国植生調査DB入手希望

【メール記載事項 (必須項目)】

- ・氏名: (例) 環境太郎
- ・所属: (例) 行政機関
行政機関、調査研究機関、教育機関 (教員)、学生 (大学院生含む)、
民間企業・団体、NPO・NGO、無所属の個人から、最も当てはまるもの1つを選択
- ・利用目的: (例) 行政
行政、調査研究、教育、環境アセスメント、報道から、最も当てはまるもの
1つを選択

1. 本データベースの構成

全国植生調査データベース (以下「全国植生調査 DB」という。) は、1/2.5 万植生図作成業務における植生調査データを整理したものであり、おもに「T001 調査地点一覧」、「T002 植物表 (階層別種リスト)」の2つのテーブルから構成されています。

※2つのテーブルは調査地点コード*1 を主キーとしてリンク。

なお、テーブル「T002植物表_環境省RL (VU以上) および北海道重要種」は希少種の位置情報となり、処理については4.(2)を参照してください。

(1) 「T001 調査地点一覧」

調査地点一覧には、1地点1レコードとして以下の項目が記載されています (表1)。

- 調査地点情報 (調査地点コード*1、2次メッシュ、調査区分、ブロック、都道府県、市町村、緯度・経度等)
- 調査実施情報 (調査者、調査年月日等)
- 凡例 (植生区分、凡例、群落名称等)
- 階層区分 (高木層～コケ層の優占種名、植被率、高さ等)
- 立地情報 (海拔、方位、傾斜、地形、土壌等)
- 資料情報 (既存資料引用の場合)

(2) 「T002 植物表 (階層別種リスト)」

植物表には、組成調査結果の出現種1種を1レコードとして調査地点コード*1、階層区分、被度、群度、種名が記載されています (表2)。

- 階層区分 (7層; 高木層、亜高木層、低木層 1、低木層 2、草本層 1、草本層 2、コケ層)

*** 1 調査地点コード**

- 調査地点コードは、管理コードと識別コードの組み合わせにより設定（全て半角数字の 23 桁表示）。
- 管理コードは、[2次メッシュ+調査区分]の組み合わせで管理。
- 識別コードは、[法人 ID+調査者 ID+年月日+連番]の組み合わせで管理。

例) 管理コード[2次メッシュ+調査区分]+識別コード[法人 ID+調査者 ID+年月日+連番]
→ 53394501001001010801001

項目	コード設定	桁数	例
2次メッシュ	標準地域メッシュの第2次地域区画のコード	6	533945
調査区分	優占種調査1;01、組成調査;02、組成(資料);03 優占種(資料);04、優占種調査2;05	2	01
法人 ID	全国単位に設定する、法人の ID	3	001
調査者 ID	調査年度別法人単位に設定する、調査者の ID	3	001
年月日	年(2桁)+月(2桁)+日(2桁)	6	010801
連番	[法人 ID+調査者 ID+年月日]別に振られる連続番号	3	001

表1 調査地点一覧のフィールド

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
調査地点コード	調査地点名	2次メッシュコード	調査区分コード	調査法人コード	調査者コード	調査年	調査月	調査日	連番	
41286702004004091005001	YO1	412867	02	004	004	09	10	05	001	
11	12	13	14	15	16	秒は小数第2位まで記入		入力測地系 緯度原～経秒原の測地系。JGD2011,JGD2000, Tokyo,WGS1984等		
緯度原	緯分原	緯秒原	経度原	経分原	経秒原					
27	53	21.33	128	57	25.05					
17	18	19	20	21	22	23	24	25	雄占種2位置	
緯度	緯分	緯秒	経度	経分	経秒	範囲外フラグ	入力測地系	雄占種2位置*	1:対象の植生の位置 2:調査者の視点の位置 3:不明または未確認	
27	53	21.33	128	57	25.05	0	JGD2000	1		
緯度、経秒 緯度原～経秒原の座標をJGD2000に投影変換した座標。今後JGD2011に変換する予定。								*H28から追加		
26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
ブロックコード	都道府県コード	群落名称(相観区分的な視点)	最高階層区分	最高階層優占種名	最高階層高さ	代表写真ファイル名	植生区分	凡例コード	凡例名	群落名
8	46	アダン群団	3	アダン	3.5		VI	390200	アダン群団	アダン群落
*数値型に変更										
37	38	39	40	41	○〇層高さのデータ型を数値型に変更(H12-29年度版より)					
高木層優占種	高木層高さ	高木層植被率	高木層胸高直径	高木層種数						
				(なし)						
*数値型に変更										
42	43	44	45	46						
亜高木層優占種	亜高木層高さ	亜高木層植被率	亜高木層胸高直径	亜高木層種数						
				(なし)						
*数値型に変更										
46	47	48	49	50						
低木層1優占種	低木層1高さ	低木層1植被率	低木層1胸高直径	低木層1種数						
アダン	2-3.5	90	3-4	2						
*数値型に変更										
52	53	54	55	56						
低木層2優占種	低木層2高さ	低木層2植被率	低木層2胸高直径	低木層2種数						
				(なし)						
*数値型に変更										
57	58	59	60	61						
草本層1優占種	草本層1高さ	草本層1植被率	草本層1胸高直径	草本層1種数						
トベラ	1	10		7						
*数値型に変更										
62	63	64	65	66						
草本層2優占種	草本層2高さ	草本層2植被率	草本層2胸高直径	草本層2種数						
				(なし)						
*数値型に変更										
67	68	69	70							
コケ層優占種	コケ層高さ	コケ層植被率	コケ層種数							
			(なし)							
*数値型に変更										
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	
調査面積	面積計算値	出現種数	市町村名	海拔	方位	傾斜	地形	土壌	風当	
5×5㎡	25	8	徳之島町	20	-	0	平地	その他(砂浜)	強	
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	
日当	土湿	資料No	資料名称	発行者	発行年	記載された群落名	記載ページ等	備考	調査年度	
陽	乾								2009	

表2 植物表のフィールド

1	2	3	4	5	6
調査地点コード	階層	被度	群度	種名	備考
41286702004004091005001	3	5	5	アダン	YO1
41286702004004091005001	5	1	1	トベラ	YO1

以下略

2. 組成調査と優占種調査

全国植生調査 DB の調査データは組成調査と優占種調査に大別され、既存資料によるものを含め、5種の調査区分に分けられています。表3に組成調査・優占種調査と全国植生調査 DB のテーブルとの対応を示します。

(1) 組成調査

組成調査は、現在広く用いられている Braun-Blanquet (1964) による植物社会学的全推定法による全種調査資料 (アウフナーメ) に、環境省の植生図の凡例を記載したものです。組成調査データは「T001 調査地点一覧」と調査地点別の「T002 植物表 (階層別種リスト)」から構成されます。

(2) 優占種調査

優占種調査は、「T002 植物表 (階層別種リスト)」を省いた、環境省植生図作成業務独自の補足的な調査です。優占種調査1の相観調査と、優占種調査2の植生配分 (景観) 調査の2種類があり、優占種調査1・2のデータは「T001 調査地点一覧」に示されています。

表3 調査区分と全国植生調査 DB のデータテーブル

調査区分 ID	調査区分名	内容	「T001 調査地点一覧」	「T002 植物表」	備考
01	優占種調査 1	相観調査	○	—	・植生図作成業務で独自に設定された「T002 植物表」を略した調査。
02	組成調査	植物社会学的な全種調査	○	○	・「T001 調査地点一覧」「T002 植物表」は調査地点コードでリンク。
03	組成 (資料)	既存資料から引用した組成調査	○	○	・「T001 調査地点一覧」の緯度経度や調査年月日が不明の場合がある。
04	優占種 (資料)	既存資料等による優占種調査	○	—	
05	優占種調査 2	植生配分 (景観) 調査	○	—	・植生図作成業務で独自に設定された「T002 植物表」を略した調査。 ・「T001 調査地点一覧」に中心となる植生を記録。 ・「T001 調査地点一覧」の緯度経度は①対象植生の位置と②調査者の位置 (視点位置) が混在しているので注意。

3. データ表示

(1) テーブルから

組成調査のデータは、T001 の組成調査地点（調査区分02, 03）の左端の「+」をクリックすると、T002 に収録されたデータが表示されます。※優占種調査地点（調査区分01, 04, 05）は空白行が表示されます。

No.	階層	積層	群度	種名	備考	更新	エラー	類似レコード
133960	1	2	3	ヤマモモ		2017/04/16	0	
133961	1	2	2	コナラ		2017/04/16	0	
133962	1	3	2	ワハムガシ		2017/04/16	0	
133963	2	+		シタ		2017/04/16	0	
133964	2	+		ササカズラ		2017/04/16	0	
133965	2	+		カゴノキ		2017/04/16	0	
133966	2	2	1	ワハムガシ		2017/04/16	0	
133967	2	2	2	ヤマモモ		2017/04/16	0	
133968	3	+		ササカズラ		2017/04/16	0	
133969	3	+		ヤマモモ		2017/04/16	0	
133970	3	+		イタマキ		2017/04/16	0	
133971	3	+		ヒシキ		2017/04/16	0	
133972	3	+		ユズキ		2017/03/12	0	
133973	3	+		アセビ		2017/04/16	0	
133974	3	+		アサツクリアジ		2017/04/16	0	
133975	3	1	2	ヒサカキ		2017/04/16	0	
133976	3	1	2	コゾイ		2004/09/23	0	
133977	3	1	1	ヤブムラサキ		2017/04/16	0	
133978	3	1	1	カゴノキ		2017/04/16	0	
133979	3	1	1	イヌビロ		2017/04/16	0	
133700	3	1	1	サカキ		2017/04/16	0	
133701	5	+		スズミモチ		2017/04/16	0	
133702	5	+		アサシロ		2017/04/16	0	
133703	5	+		シツブキ		2017/04/16	0	
133704	5	+		コゾイ		2004/09/23	0	
133705	5	+		ハニシダ		2017/04/16	0	
133706	5	+		キイチビ		2004/09/23	0	
133707	5	1	2	ウラボシ		2017/04/16	0	
133708	5	1	1	ヤブムラサキ		2017/04/16	0	
133709	5	1	2	ササカズラ		2017/04/16	0	

(2) フォームから

フォームの「frm_データ表示」により、調査地点ごとのデータが「位置情報」、「植生情報」、「その他」タブで表示されます。調査地点は下方のレコードの No. により選択します。

群集名称(群集区分別)は地点: 調査地点: 調査区分: 調査区: 調査法: 調査者: 調査年: 調査月: 調査日: 連番: 積層: 積層原: 積層分: 積層原: 群

最高層名: 高木層 高さ: 80

優占種名: ショウジ

植生区分: IV

凡例コード: 160201

群集名: ミヤマクマワラビ-ショウジ群集

大区: 深緑林 中区分: ショウジ群集

細区分: ミヤマクマワラビ-ショウジ群集

積層名	積層	積層原	積層分	種名	備考
高木層	5	4		ショウジ	
新高木層	3	3		ショウジ	
中高木層	1	2		ササカズラ	
中高木層	+			エンコウカエデ	
中高木層	+			コトワケ	
中高木層	+			ササキ	
低木層1	4	4		ショウジ	
低木層1	1	2		アサシロ	実更新:アサシロ
低木層1	+			クマノヒゲ	
低木層1	+			コハナシロ	
低木層1	+			ササカ	
低木層1	+			ツルハシ	
低木層1	+			ニシキ	実更新:ニシキ
低木層1	+			ヒナウツカエデ	
低木層1	+			ミズキ	
低木層1	+			ミズナ	
低木層1	+			ミヤマボタ	実更新:ミヤマボ
低木層1	+			ミヤマハハシ	
低木層1	+			ムラサキ	
低木層1	+			リュウノヒゲ	
低木層1	2	2		ショウジ	
低木層1	1	2		ミヤマクマワラビ	
低木層1	+			ウツカエデ	
低木層1	+			ヒナウツカエデ	
低木層1	+			エビノライチゴ	
低木層1	+			カサネオコシ	
低木層1	+			コガク	

レコード No. 4 / 66240

その他の表示・解析を行うにはクエリーを作成してください。

4. ご利用にあたっての留意事項

全国植生調査 DB に納められている植生調査データは、調査当時のエラーデータ等に適宜修正を加えてあります。また、項目によっては間違ったデータが登録されている可能性があるため、今後もスクリーニング等を行い、適宜更新していく予定です。

ご利用の際は、以下についてご留意いただくとともに「5. 更新履歴」をご確認ください。

(1) 種名

種名はおもに環境省植物目録（1987 年版、1994 年修正版）により分類しています（グリーンリストは未使用）。

種名の精査は調査時に一部で実施していますが、全国的なスクリーニングは未了です。そのため、誤同定や入力ミスが含まれている可能性があります。

種名は和名のみで登録されているため、和名が同じで科名が異なる種は科名（学名）が不確かです。以下のような和名の異名統一や学名記載にはご注意ください。

例)

ID	目録	分類	科名	種名	学名
6	380	シダ植物	イワヒバ	ヒモカズラ	<i>Selaginella shakotanensis</i>
205	16140	離弁花類	ヒユ	ヒモカズラ	<i>Deeringia amaranthoides</i>
214	16520	離弁花類	クスノキ	チャノキ	<i>Cinnamomum pseudo-pedunculatum</i>
286	20800	離弁花類	ツバキ	チャノキ	<i>Thea sinensis</i>
775	54860	合弁花類	キク	ヨモギ	<i>Artemisia indica</i>
780	55010	合弁花類	キク	ヨモギ	<i>Artemisia princeps</i>
822	58120	合弁花類	キク	ヂシバリ	<i>Ixeris debilis</i>
826	58300	合弁花類	キク	ヂシバリ	<i>Ixeris stolonifera</i>
964	69720	単子葉植物	イネ	ヂシバリ	<i>Phragmites japonica</i>
867	61650	単子葉植物	ユリ	スズラン	<i>Convallaria keiskei</i>
1056	79090	単子葉植物	ラン	スズラン	<i>Epipactis thunbergii</i>
951	68530	単子葉植物	イネ	チゴザサ	<i>Isachne globosa</i>
967	69910	単子葉植物	イネ	チゴザサ	<i>Pleioblastus fortune</i>

異名（学名は同じであるが和名が異なる種）の統一は行っていません。異名を統一する場合は「TM15 和名学名」を参照してください。

(2) 希少種情報

希少種の位置情報等について、以下のように処理しています。

① 環境省レッドリスト2020 (RL) 掲載種 (VU 以上)

対象範囲：全ての植生調査データ

処理内容：「T002植物表_環境省RL(VU以上) および北海道重要種」に位置情報を2次メッシュで示すとともに、「T001 調査地点一覧」の優占種項目から種名を削除してあります。

過年度に作成した全国植生調査データベース (H12-R2 年度版) についても、最新の環境省レッドリスト2020で確認し、修正してあります。

② 東京都レッドデータブックの全掲載種

東京都の保護上重要な野生生物種 (本土部) 2020年版

東京都の保護上重要な野生生物種 (島しょ部) 2011年版

対象範囲：東京都の植生調査データ

処理内容：「T002植物表_環境省RL(VU以上) および北海道重要種」に位置情報を2次メッシュで示すとともに、「T001 調査地点一覧」の優占種項目から種名を削除してあります。

③ ブロック調査会議で非公開にすべきと判断された種 (北海道ブロック)

北海道(2001) 北海道の希少野生生物—北海道レッドデータブック2001等

H30からR2までに非公開にすべきと判断された計71種 *環境省レッドリストの異名1種を除く

対象範囲：北海道の植生調査データ

処理内容：「T002植物表_環境省RL(VU以上) および北海道重要種」に位置情報を2次メッシュで示すとともに、「T001 調査地点一覧」の優占種項目から種名を削除してあります。

(3) 凡例名

凡例名の群落にローマ数字がついているものは次のような植生区分を示しています。

(例：アカマツ群落 (VII))

植生区分

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| (III) コケモモトウヒクラス域代償植生 | (IV) ブナクラス域自然植生 |
| (V) ブナクラス域代償植生 | (VI) ヤブツバキクラス域自然植生 |
| (VII) ヤブツバキクラス域代償植生 | (VIII) 河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等 |
| (IX) 植林地、耕作地植生 | |

群集は基本的に主要なクラス域の植生区分に位置づけて登録しています。

TM06統一凡例のテーブルに、全凡例のリストを示しています。凡例コード・凡例名によりそれぞれの植生区分・大区分・中区分・細区分が抽出できますので参考にしてください。

大区分：亜高山帯針葉樹林、落葉広葉樹二次林、砂丘植生、耕作地等 (群系)

中区分：ハイマツ群落、ミズナラ群落等 (優占種群落・群団)

細区分：シキミーモミ群集等 (群集)

※「T001 調査地点一覧」の調査地点における凡例について、植生図上の同じ位置における凡例と一致していない場合があります。理由として次のようなことが考えられます。

- 1) 植分が小面積であるため、植生図では周囲の凡例に含めて図示している。
- 2) 植生図を修正した際、植生調査データに凡例名の変更を反映させていない。
2000～2003年度二次林、2008年度北海道ブロック、2015年度関東ブロック北部等
- 3) 調査地点の緯度経度が間違っている。

(4) 市町村名

市町村名は調査当時のものです。

(5) 調査地点数・密度

現地調査データは計76,698地点、このうち植物社会学的な調査が実施された**組成調査地点は43368地点**（資料調査1,071地点を含む）です。2次メッシュあたりの調査地点数は調査年度・整備地域によりばらつきがあります。

5. 更新履歴

【令和5（2023）年3月】令和5年3月公開

- ・令和3（2021）年度に取得されたデータを追加し、種名の修正・不明種の削除を行いました。
- ・全データを見直し、次の修正を行いました。
 - 追加された令和3年度のデータに対し、最新のレッドリスト2020（2020.3.27）のVU以上の種の希少種処理を実施。
 - 昨年度に希少種として「T002植物表_環境省RL(VU以上) および北海道重要種」テーブルで扱われていた種について、県別フロラとの照合、地域の有識者への問い合わせ等により分布確認を行い、一部の種名を修正。希少種の扱いをとりやめたものもあります。
 - 東京都から「平成19年度東京都現存植生調査委託（東京都 2007）」により提供されたデータに対し、東京都の保護上重要な野生生物種（本土部）2010年度から2020年度版への更新に伴い新たに希少種処理を実施。
 - 「T001 調査地点一覧」の一部の県コードの誤りを座標との照合により修正。
 - 「T002 植物表」の被度、群度の表記を半角に統一。
- *北海道のデータの追加はないため、北海道の希少種処理の追加は未実施。
- ・非公開の現地写真ファイルに関するテーブル、データを削除。

【令和4（2022）年2月】令和4年2月公開

- ・令和2（2020）年度に取得されたデータを追加し、種名の修正・不明種の削除を行いました。
- ・平成22（2010）年度に取得された北海道の624075大沼公園、634004姫川、634005駒ヶ岳の3メッシュの調査地点72地点（組成11、優占種61地点）は、令和2年度に新たに現地調査が実施され新しい凡例で整理されたため、データを削除し、令和2年度のデータに入れ替えました。
- ・全データを見直し、次の修正を行いました。
 - 令和2年度のデータを対象に、最新のレッドリスト2020（2020.3.27）のVU以上の種の希少種処理を実施。なお、レッドリストは昨年度から変更がなかったため、昨年度に希少種処理を行ったH12-31年度までのデータは変更ありません。
 - 北海道のデータを対象に、北海道ブロック調査会議で非公開にすべきと判断された種に対して希少種処理を実施（H30とH31に判断された種（計50種）に、R2に判断された22種を追加）。
 - 調査地点の座標の緯度_原～経秒_原には調査時に使用された測地系による数値を入れ、緯度～経秒にはJGD2000に変換した数値を入れました。また、表1の座標及び入力測地系の説明を修

正しました。緯度～経秒は今後JGD2011に変換する予定です。

- 一部の種と階層、調査年、市町村名の誤記を修正
- 最高階層の高さ及び優占種名の空欄を追加

【令和3（2021）年3月】令和3年3月公開

- ・平成31（2019）年度に取得されたデータを追加し、種名の修正・不明種の削除を行いました。
- ・全データを見直し、次の修正を行いました。
 - 最新のレッドリスト2020（2020.3.27）のVU以上の種の見直しを反映して希少種処理を実施。但し、H31中部ブロック調査会議では「ハナノキ群落」のハナノキのような特殊なケースは公開可と判断されました。そのため、当該年度に限り希少種処理から外し公開しました。
 - 北海道ブロック調査会議で非公開にすべきと判断された種に対して希少種処理を実施（H30に判断された25種に、H31に判断された25種を追加）
 - 一部の種の誤記を修正

【令和2（2020）年1月】令和2年1月公開（令和2年12月DB提供について運用変更）

- ・従来の「HPのURLをクリックするだけで植生図DBがダウンロードされる方式」から、「環境省生物多様性センターに氏名・所属・利用目的を記載したメールを送り、確認を得た上で、ダウンロード用URLが返信される方式」に運用変更を行いました。
- ・平成30（2018）年度に取得されたデータを追加し、種名の修正・不明種の削除を行いました。
- ・全データを見直し、次の修正を行いました。
 - 最新のレッドリスト2019（2019.1.24）のVU以上の種の異名に対しても希少種処理を実施。なおレッドリスト2019はレッドリスト2018から植物について見直しはありません。
 - 北海道レッドリスト2001の掲載種の一部についてH30年度の北海道ブロック調査会議で非公開にすべきと判断された25種に希少種処理を実施

【平成30（2018）年3月】平成30年10月公開

- ・平成28・29（2016・2017）年度に取得されたデータを追加し、種名の修正・不明種の削除を行いました。
- ・全データを見直し、次の修正を行いました。
 - 平成12-27年度のデータは、希少種を第4次レッドリスト（2012.8.28）からレッドリスト2018（2018.5.22）に変更して希少種処理を実施
 - 平成28・29年度のデータ（今回公開）は希少種をレッドリスト2018として希少種処理を実施
- ・T001のテーブルを見直し、次の修正を行いました。
 - 「優占種2位置」のフィールドを追加
 - 「〇〇層高さ」(m)の7層のデータ型をテキスト型から数値型に変更し、内容を修正
最高階層高さ、高木層高さ、亜高木層高さ、低木層1高さ、低木層2高さ、草本層1高さ、草本層2高さ、コケ層高さ
※例 '12~15→15, 15→15, 15m→15
 - 「〇〇層高さ」(m)を精査し(cm)単位で入力された数値を(m)単位の数値に変更
※例 250→2.5, 100→1, 44→0.44
 - H22（2010）中国四国ブロック等のデータについて、フィールドの関係からフィールドのずれと判断できるものを修正

- 「〇〇層優占種」の誤記を修正し（不明は（ママ）と付記）、種名の区切りを「、」に統一
- 東京都（東京都本土部、伊豆諸島、小笠原諸島）等のデータについて、T001のIDO_DMS, KEIDO_DMS, IDO_DBG, KEIDO_DBGの空白箇所は10進数の数値を記入
- 東京都（小笠原諸島南硫黄島）の調査地点コードの調査区分を02→03に変更。T002も変更

【平成 29（2017）年 3 月】平成29年 6 月公開

東京都（東京都本土部、伊豆諸島、小笠原諸島）のデータを追加するとともに、全データを見直し、次の修正を行いました。

- ・ 種名の変更・削除
 - 誤記の修正
 - 文字表記の半角を全角に修正
 - 不明種の削除（sp. 〇〇属の一種 ?等）
 - 総称の変更（シイの一部→スダジイ/コジイ、クワ→マグワ）
 - 調査対象外のコケ類・地衣類の種名を属名に変更。ただし、ミズゴケ類の一部は種名を表記（例：コケ類（イボミズゴケ））
- ・ 植生区分の間違いを修正、植生区分の表記を半角大文字アルファベットに統一。
- ・ H14（2002）中国四国ブロック（松江周辺）の調査地点 405 地点について緯度経度を修正。位置が確定できる箇所で一定方向にずれていたため、日本測地系（旧測地系）未変換とみなして世界測地系（新測地系）に変換。
- ・ ブロックコード 9-12 を修正。
- ・ H25（2013）中部ブロックの凡例コード、凡例名の一部を植生図にあわせて振り替え。

【平成 26（2014）年 5 月】

次の誤記等を修正しました。

- ・ 種名 1 地点
- ・ 植生区分 IIII を III に修正 73 地点
- ・ H23（2011）関東の県コード 427 地点
- ・ 公開中の調査地点テーブル chousapoint にあわせ、階層別優占種等を修正 多数

以上